

## 市民協働フォーラム(8月20日)

### Q.なぜ協働できないのか

①行政サイドの課題	点数	②事業者サイドの課題	点数	③共通の課題	点数
・市の組織に事業調整する部署がない	24	・行政の仕組みを知らない	8	・共通文化を持つための場をつくる	13
・担当者が2~3年で変わる	12	・予算的な問題(助成金、交付金制度の見直し、活動資金不足)	8	・双方のニーズをいかにコーディネートしていくか、体制が整っていない	12
・日々の業務に追われている	12	・継続的に活動する為には経費を捻出する仕組みが必要	7	・双方の当事者意識を高める	8
・事業を行うにあたり多くの部署が関係している	10	・将来自立できるか	7	・目的・目標が明確であれば進みやすい	6
・新しい事業を起こす労力、余裕がない	9	・行政の事情が解っていない	6	・新しいことにチャレンジ、1歩を踏み出す	6
・議会の意識改革	8	・「岡山市の未来」を語り合えない	4	・話し合う機会づくりが必要	5
・思いはあるが目的が明確にならない	7	・ESDは何をしたいのか、何を言いたいのか	4	・意見交換の場がなく、お互い知らなかった	4
・関係する団体が協働のモチベーションを同じように持てない	7	・提案が具体的でなく解りにくい	3	・双方の具体的接点が曖昧	3
・意識改革ができていない	7	・エリアが広すぎて事業が成り立ちにくい	3	・リスクの共有が必要	3
・NPOの事情が解らない	6	・行政が規制をかけてくる	3	・お互いかみあわない(行政は平等・公平、民間は問題点に特化)	2
・公平性(当たり前と思っていること)	6	・単年度予算なので持続が難しい	3	・双方の距離を縮める	2
・予算編成段階の仕組み	5	・さまざまな申請書類の煩雑さ	3	・協働についての認識の違い	2
・行政は監督官庁になっている意識の問題	5	・行政との接点が見つけにくい	2	・協働事業の成果の検証がしづらい(数値化しにくい)	2
・どの部署に行けばよいかわからない	4	・「想い」を見える化する事が難しい	2	・双方の専門的などころのマッチングが必要	1
・上司のビジョン次第、部下の力量次第のところがある	4	・平等性、公平性を盾に却下される	2	・会議等の日程調整	1
・自分の仕事なのか、明確にしていない(協働は仕事)	4	・具体性のある事業計画と見せ方が難しい	2	・お互いにもっとフランクにできたら	1
・NPOとの役割分担が難しい	3	・団体が小さいので余裕がない	1	・お互い経験を重ねるべき(経験不足)	1
・信用できるNPO団体なのか	3	・他の仕事をやりながら協働するのは負担が大きい	1	・組織対組織なので個人では対応できない事もある	1
・事務局運営に不安が積みまとう	3	・事業費用のおねだりに思える	1	・取捨選択しながら目標に向かってマネジメントが必要	1
・先が見えない不安(苦労した割に成果が)	3	・資金獲得の為の実務力がない	1	・お互いに出来ることがわからない	1
・縦割り行政(単課に提出、別々の課で話)	2	・活動資金作り	1	・法的な規制がある	1
・仕事を増やしてほしくない	2	・金と人が足りない	1		
・NPOが主体では本来の協働ではない	2	・NPO運営の為の事務処理の煩雑さ	1		
・複数の許可を得ないと前に進まない	1	・あれば協働を可能にする情報がない	1		
・「子ども」の事を実施するのに関わる担当課が多すぎる	1	・個人(行政の)との関係になってしまうこともある	1		
・何をやる事が協働なのか	1	・後継者不足	1		
・協働の相手方に過度の負担をかけずどう実施できるのか	1	・高齢化、新しい人材の育成が必要	1		
・人の数に制限がある	1	・自分の組織を守る事が第一	1		
・しなくてもすむ(自分のペースでできる)	1	・嫌な事はわざわざやりたくない	1		
・部署が複数の場合、早い段階の情報の共有が必要	1	・課題が多いのに社会資源が少ない	1		
・区役所としては動きづらい	1	・外国人のネットワークは民間に頼る部分が多い	1		
・予算要求は秋、実際には2年後	1	・協働に動いてほしい	1		
・国からの仕事が多すぎる	1				
・実務が追い付かない	1				
・協働を受け入れる感じがない	1				